

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第7号）について（送付）  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

## 記

### 【飛来および発生状況】

#### 1 セジロウンカ

- (1) 予察灯における7月2半旬までの累積誘殺数は、合志市が16頭（平成25年2,265頭）、天草市が6頭（平成25年1,068頭）で、平成25年より少なかった（表2）。
- (2) 合志市の無防除田における7月6日の払い落とし調査では、株当たり成幼虫数が0.0頭（平成25年0.2頭）で、平成25年に比べ少なかった。

#### 2 トビイロウンカ

- (1) 合志市のネットトラップでは、6月18日に初飛来を確認し、その後、6月25日、7月5日と飛来が認められた。天草では6月27日に予察灯で初飛来を確認した（表1）。
- (2) 合志市における7月2半旬までの予察灯の累積誘殺数は17頭（平成25年43頭）で平成25年より少なかった（表3）。

#### 3 コブノメイガ

- (1) フェロモントラップ調査では、天草市で6月12日に初飛来を確認し、その後6月20日以降、断続的に誘殺された。合志市では7月10日現在飛来を認めていない（表1）。

### 【防除について】

本年の海外飛来性害虫の飛来量は少ない。しかし、ほ場での発生量は、地域や品種、箱施薬剤の種類により異なるので、防除適期前に発生状況を確認し、防除要否を判断する。

- 1 セジロウンカの要防除水準（活着後）は6～10頭/株である。飼料用や米粉用の水稻には、セジロウンカの増殖に好適な品種があるので、特に注意する。
- 2 トビイロウンカの防除適期は、飛来予測に応じて表4のように予測される。水田における発生状況を確認し、成幼虫数が要防除密度（7月下旬～8月上旬 20頭/100株、8月中旬～下旬 100頭/100株）を超える場合は防除する。
- 3 コブノメイガの発蛾最盛期は、合志市での飛来が確認されていないため、ウンカの飛来状況により表5のように予想される。水田における発生状況を観察し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除する。

※今後の発生状況、防除対策については防除所ホームページ「<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>」上に掲載します。

(表1)

平成25年度 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺数

フェロモントラップ: 各2個の合計

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査期間の最初の日にデータを記入した

Table with columns for survey date, trap type (予察灯, ネットトラップ, コントラップ), and location (天草市, 合志市). Rows list dates from 6/1 to 7/10 with corresponding counts for various pest species.

(表2)

予察灯におけるセジロウカの半旬毎の誘殺数

生産環境研究所(合志市)

Table showing weekly capture counts of Sejirowaka in the Yosaicho light trap from June to July, with columns for month, half-month, and specific dates (H17-H25).

天草農業研究所(天草市)

Table showing weekly capture counts of Sejirowaka in the Tenkawa Agricultural Research Institute light trap from June to July, with columns for month, half-month, and specific dates (H17-H25).

(表3)

予察灯におけるトビイロウンカの半旬毎の誘殺数

生産環境研究所(合志市)

Table showing weekly capture counts of Tobiirounka in the Yosaicho light trap from June to July, with columns for month, half-month, and specific dates (H17-H25).

天草農業研究所(天草市)

Table showing weekly capture counts of Tobiirounka in the Tenkawa Agricultural Research Institute light trap from June to July, with columns for month, half-month, and specific dates (H17-H25).

(表4) 予想されるトビイロウンカの防除適期

(6月18日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫ふ化揃い期)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫ふ化揃い期)
三角	7月8～15日	8月6～13日
岱明	7月8～15日	8月5～12日
鹿北	7月10～17日	8月9～16日
菊池	7月9～16日	8月7～14日
阿蘇乙姫	7月14～21日	8月17～24日
甲佐	7月8～15日	8月6～13日
八代	7月8～15日	8月4～11日
水俣	7月8～15日	8月5～12日
人吉	7月9～16日	8月8～15日
本渡	7月8～15日	8月6～13日

(6月25日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫ふ化揃い期)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫ふ化揃い期)
三角	7月14～21日	8月11～18日
岱明	7月13～20日	8月10～17日
鹿北	7月15～22日	8月15～22日
菊池	7月14～21日	8月12～19日
阿蘇乙姫	7月19～26日	8月23～30日
甲佐	7月14～21日	8月12～19日
八代	7月13～20日	8月10～17日
水俣	7月14～21日	8月12～19日
人吉	7月15～22日	8月14～21日
本渡	7月14～21日	8月12～19日

(7月5日飛来)

地点	防除適期 <sup>注)</sup> (第1世代幼虫ふ化揃い期)	防除適期 <sup>注)</sup> (第2世代幼虫ふ化揃い期)
三角	7月22～29日	8月19～26日
岱明	7月22～29日	8月18～25日
鹿北	7月23～30日	8月23～30日
菊池	7月22～29日	8月20～27日
阿蘇乙姫	7月26日～8月1日	8月31日～9月6日
甲佐	7月22～29日	8月20～27日
八代	7月22～29日	8月18～25日
水俣	7月22～29日	8月20～27日
人吉	7月23～30日	8月22～29日
本渡	7月22～29日	8月20～27日

注)・6月18日、6月25日、7月5日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月11日まで今年データ、7月12日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

(表 5)

予想されるコブノメイガの発蛾最盛期<sup>注)</sup>

(6月25日飛来)

地点	第1世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>	第2世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>
三角	7月28～30日	8月25～28日
岱明	7月27～29日	8月24～27日
鹿北	7月30日～8月2日	8月31日～9月4日
菊池	7月28～31日	8月27～31日
阿蘇 乙姫	8月5～8日	-
甲佐	7月28～30日	8月26～30日
八代	7月27～29日	8月24～28日
水俣	7月28～30日	8月26～30日
人吉	7月29日～8月1日	8月29日～9月2日
本渡	7月28～30日	8月26～30日

(7月4日飛来)

地点	第1世代発蛾最盛期 <sup>注)</sup>
三角	8月3～5日
岱明	8月3～5日
鹿北	8月6～8日
菊池	8月4～6日
阿蘇 乙姫	8月11～14日
甲佐	8月4～6日
八代	8月5～7日
水俣	8月3～6日
人吉	8月5～7日
本渡	8月3～6日

本田防除剤の散布適期は、粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期1週間後)である。

注)・6月25日および7月4日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月11日までは今年のデータ、7月12日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

熊本県病虫害防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
病虫害研究室 予察指導係)

担当：山口 TEL 096-248-6490